

Media Information

令和3年11月12日 神戸新聞

特別養護老人ホームで勤務する職員について掲載されました。

戸 新 聞

(第3種郵便物認可)

80歳の介護士

元気をお届け

特養で週4日勤務、興津さん

興津さんは中学校を卒業後、遊覧船運航会社に就職。大久保町大窪に「スカウト」される形で05年、新たな職に就いた。

以来、特別養護老人ホーム「清華苑」で介護士として働く。12年には70歳に達して国家資格の介護福祉士を取得。「より一層高度な業務に従事したい」という思いを胸に、興津さんは

和の名歌手、名優の話題と一緒に盛り上がります」と興津さん。介護の仕事はもちろん、車いすのメンテナンスなど身に付けた多彩な技能をフル活用して利用者の生活を支える。

(有富晴貴)

10月で80歳を迎えた興津一博さん＝明石市松が丘1＝は週4日程度、市内の特別養護老人ホームに出勤する。セカンドキャリアとして63歳から歩み始めた介護士の道。「美空ひばりや片岡千恵蔵ら昭和の名歌手、名優の話題と一緒に盛り上がります」と興津さん。介護の仕事はもちろん、車いすのメンテナンスなど身に付けた多彩な技能をフル活用して利用者の生活を支える。

(有富晴貴)

興津さんの仕事をしながら、実母の介護をしていた経験から興味を湧き、すぐさま受講の手续をした。当初は介護士として勤めるつもりはなく、「自分も妻も年を取っていくし、勉強だけしておこうか」と思っていた。ところが講師の熱いこもった指導に感化され、同講座を開いていた社会福祉

利用者の食事の介助をする興津さん

いづれも明石市大久保町大窪

元機関士。車いすの整備をするのはお手のもの

定年後に資格取得 元機関士、修理もこなす

はつらつとした笑顔を振りまき、興津さんだが、昨年から体力の衰えを感じ始めたという。いつまで仕事を続けられるか分からないという不安も。「命を預かる仕事。先のことを考えるより、毎日ミスをしないことを徹底したい」。自らに厳しく、日々新たな気持ちで介護の現場に立ち続ける。

興津さんは中学校を卒業後、遊覧船運航会社に就職。大久保町大窪に「スカウト」される形で05年、新たな職に就いた。

以来、特別養護老人ホーム「清華苑」で介護士として働く。12年には70歳に達して国家資格の介護福祉士を取得。「より一層高度な業務に従事したい」という思いを胸に、興津さんは

和の名歌手、名優の話題と一緒に盛り上がります」と興津さん。介護の仕事はもちろん、車いすのメンテナンスなど身に付けた多彩な技能をフル活用して利用者の生活を支える。

(有富晴貴)

興津さんの仕事をしながら、実母の介護をしていた経験から興味を湧き、すぐさま受講の手续をした。当初は介護士として勤めるつもりはなく、「自分も妻も年を取っていくし、勉強だけしておこうか」と思っていた。ところが講師の熱いこもった指導に感化され、同講座を開いていた社会福祉

利用者の食事の介助をする興津さん

いづれも明石市大久保町大窪

元機関士。車いすの整備をするのはお手のもの

定年後に資格取得 元機関士、修理もこなす

はつらつとした笑顔を振りまき、興津さんだが、昨年から体力の衰えを感じ始めたという。いつまで仕事を続けられるか分からないという不安も。「命を預かる仕事。先のことを考えるより、毎日ミスをしないことを徹底したい」。自らに厳しく、日々新たな気持ちで介護の現場に立ち続ける。